

教育・研究等業績一覧

履 歴					
フリガナ	ヤマ ダ エイ キチ	性 別			
氏 名	山 田 英 吉	男	生 年	1955年	
所 属	保育学科	身 分	教授		
学 歴					
年 月	事 項				
1974年4月	北海道教育大学札幌分校 入学				
1978年3月	北海道教育大学札幌分校 卒業 教育学士（美術）				
職 歴					
年 月	事 項				
1978年4月	北海道檜山北高等学校 美術教諭 保健部長 進路指導部長				
1992年4月	北海道滝川西高等学校 美術教諭 教務主任				
2005年9月	北海道更別農業高等学校 教頭				
2008年4月	北海道女満別高等学校 教頭				
2009年4月	北海道更別農業高等学校 校長				
2011年4月	北海道根室西高等学校 校長				
2013年4月	北海道札幌南陵高等学校 校長				
2014年4月	拓殖大学北海道短期大学 教授 現在に至る				
教 育 業 績					
1 担当授業科目（2015年度）					
科 目 名	出講場所	期別	曜日	時限	備 考
造形表現	絵画工作室	前期	月曜日	4時限	
保育実習指導Ⅱ・Ⅲ	101教室	前期	月曜日	5時限	
基礎科目入門	絵画工作室	前期	火曜日	2時限	
保育実践演習	絵画工作室	前期	火曜日	3時限	
保育教材研究Ⅲ	絵画工作室	前期	火曜日	4時限	
図画工作A	絵画工作室	前期	水曜日	4時限	
図画工作B	絵画工作室	前期	水曜日	3時限	
児童文化B	絵画工作室	前期	金曜日	3時限	
造形表現	絵画工作室	後期	月曜日	2時限	
総合芸術・総合芸術表現	絵画工作室	後期	月曜日	5時限	
基礎科目入門	絵画工作室	後期	火曜日	2時限	
保育実践演習	絵画工作室	後期	火曜日	3時限	
保育実習指導Ⅱ・Ⅲ	101教室	後期	火曜日	4時限	
図画工作A	絵画工作室	後期	水曜日	4時限	
図画工作B	絵画工作室	後期	水曜日	3時限	
児童文化A	絵画工作室	後期	木曜日	2時限	
総合芸術・総合芸術表現	絵画工作室	後期	金曜日	5時限	

<p>2 現行授業の目標と教育効果及びそれに対する自己評価</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>保育者（保育士や幼稚園教諭）として子どもたちと接することになる学生に、美術・工芸の授業を通して、理念と技能の両面を学ばせます。</p> <p>子どもたちが豊かな感性や表現力を養い、創造性を豊かにするために、基本的な事項を実践的に学習することはもちろんですが、学生自身が表現の楽しさを十分に実感し、探究心を持って創意工夫したり教材開発する態度を身に付けさせるよう努めています。毎回の授業では、題材のねらいを明確にして、保育者の支援のポイントや準備から片付けまでの流れを一つ一つ分かりやすく解説していきます。全員が保育者としての実践力を身につけることが目標です。</p> <p>学生は、毎回の授業を楽しみにしており、生き生きと制作活動に励んでいます。全員が意識や態度、技術に向上が見られます。</p>
<p>3 学生による授業評価も踏まえ、教育改善への取り組み</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>全員が授業のねらいを意識しながら、楽しく学んで向上を目指しています。はじめは「絵を描くことが苦手」「不器用だから」「センスがない」と自信をなくしていた学生も、子どもの全面発達を促す具体的な内容や方法を実践的に学んでいく中で、学び直しや再確認する機会にもなることから、できた喜びやつくる楽しさを味わい、自らの向上に気づいてくれます。もっと多くのことを学びたいという前向きな声が多く聞かれます。苦手意識を持たせない指導にも努めています。</p> <p>また、入学後の早い段階から、実習や保育の現場をイメージさせるために、グループごとに「評価（褒められ）シート」を作成させています。良さを褒めること、褒められることを通じて、個性や多様な表現に対するコメント力の向上を図ります。</p>
<p>4 教科書、教材の作成状況</p> <p>(記述式：300字以内)</p>	<p>教科書とは別に準備や製作の手順等が分かる手作りのプリントを作成して補助資料としています。実際に作品例を制作して、途中段階の画像も掲載し、分かりやすさに努めました。また、指導案に通じるよう項目や構成を工夫しています。</p>
<p>5 学生の指導（課外活動・厚生補導等）</p> <p>(主要10件以内)</p>	<p>大学祭における幼児・学童を対象とした子どもの広場の開設</p> <p>深川市内幼稚園や文化ホールでの人形劇公演</p> <p>深川市内保育園での学生による造形教室の指導</p> <p>実習指導</p> <p>公民館活動「夏休み工作教室」学生ボランティア指導</p>
<p>6 その他</p> <p>(主要5件以内)</p>	
<p>研 究 業 績</p>	
<p>1 研究分野・活動</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>「保育現場における造形表現活動に生かす教材の研究」</p> <p>幼児教育にとって重要な位置を占める造形活動について、関係保育園・幼稚園に柱となる活動、展示や装飾の方針等を聴取し、参考となる事例は授業で紹介。造形教室の実施。</p> <p>「学生の表現活動と指導法の研究」</p> <p>人形劇や学生ミュージカルの舞台美術の研究と成果の検証。</p> <p>ばらばらマンガ、クレイアニメの制作に取り組む学生の指導法や成果について、実践しながら検証。</p> <p>「日本の伝統芸術の表現と技法研究」</p> <p>大和絵手法による日本画の制作、材料の研究。</p>
<p>2 研究課題</p> <p>(今後の展開・可能性を含む)</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>「幼児の発達を促す造形表現活動に対して実践力のある保育者、センスの良い保育者を養成するために、地域や学生の実態に応じた制作教材の精選、系統性の在り方」</p> <p>「関係保育園・幼稚園との連携に努め、造形教室についても回数を増やして成果を検証」</p> <p>「日本の芸術文化の理解を重視した学習指導要領で学んできた学生に、日本の伝統美術、和の文化について、授業での扱い方を研究」</p>

3 研究助成等 (主要 5 件程度)	(1) 文部科学省科学研究費				
	なし				
	(2) 学内				
	なし				
	(3) 学外				
	なし				
4 資格・特許等 (主要 3 件以内)	高等学校教諭専修免許状 (美術)				
	中学校教諭 1 種免許状 (美術)				
著書、学術論文、作品等の名称 (主要 15 件以内)	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行又は発表 雑誌等又は発表 学会等の名称	要 約	
『「美術Ⅱ・美術Ⅲ」における「美術Ⅰ」 との関連を図った指導計画の作成及び評価 の方法の工夫』	単著	1986 年	高等学校教育課程研 究集会の成果 集録	生徒の多様な実態に応じ、芸術教科の目 標及び各科目の目的を達成するため「美 術Ⅱ・Ⅲ」の指導計画の作成及び指導と 評価の進め方の工夫改善についての研究 発表	
『個に応じた教育課程の編成と指導方 法・形態等の工夫』	単著	2004 年	平成 15 年度空知管内 教育推進資料	「生徒の特性や進路等に応じた科目選択 幅の拡大」と「基礎・基本の確実な定着 と習熟の程度や進路に応じた少人数指導 やティームティーチングなどの指導方法 や形態の工夫」を柱とした取組事例	
中空知の野外彫刻(鑑賞資料)	単著	1998 年	北空知高等学校教育 研究部芸術サークル	滝川市、赤平市、砂川市の野外彫刻につ いての鑑賞学習資料	
特色のつくりかた 「地域を学ぶ」	単著	2012 年 11 月	日本教育新聞(記事)	北方領土学習と学力向上の実践事例	
私の写生地案内		2001 年 3 月	日本文教出版(発刊)	スケッチ作品と写生地の解説集	
北海道高等学校放送視聴覚研究大会コン ピュータ部会「美術の授業におけるパソ コンの活用事例」		1993 年	北海道高等学校放送 視聴覚研究会	コンピュータが視聴覚機器として教材や 資料の提示に活用できる事例として の実践内容、その成果と課題について発 表	
「学校における薬物乱用防止教室の効果 的な進め方」		2008 年 6 月	文科省・北海道教育庁 薬物乱用防止教室講 習会 (シンポジウム)	薬物乱用防止教室の講師のための講習会 において、学校の取組とアンケート調査 の結果から見える生徒の意識等の実態	
研究業績 (過去 3 カ年分)				国際的活動 の有無	社会的活動の 有無
著作数	論文数	学会等 発表数	その他		
			1		
学 内 運 営 業 績					
1 役職、各種委員会等 (主要 10 件程度)	就職委員会				
	図書委員会				
学 外 活 動 業 績					
1 本学以外の機関(公的機 関・民間団体等)を通し ての活動 (主要 10 件程度)	空知知的障がい福祉協議会「利用者交流会」講師				
2 学会・学術団体等の活動 (主要 10 件程度)	大学美術教育学会 会員				